

日 時：平成 29 年 5 月 25 日（木）14:20～15:50

出 前 先：大阪狭山市消防本部

受 講 者：大阪狭山市女性防火クラブおよび消防本部職員（35 名）

講 師：菅野耕三先生（大阪教育大学名誉教授）

授業題目：「大阪狭山市の地盤と自然災害－災害に備えよう－」

大阪狭山市で組織されている女性防火クラブの平成 29 年度総会における講演会での特別講演講師として講義を行う形式で本出前授業を実施しました。受講者は、「大阪狭山市女性防火クラブ」のメンバー、及び消防本部職員の皆様に、約 35 名の方々が聴講されました。講師は、大阪教育大学名誉教授の菅野耕三先生にお願いしました。

講演では、大阪狭山市の地形、活断層の分布などを講義いただき、自然災害にどのようなものがあるかの説明をいただいた上で、地震災害、地すべり、豪雨による災害への備えの重要性を指摘されました。

地震災害については、地震に関する基礎的な知識として、P 波と S 波の到達時間差からの震源の推定方法などについて分かり易く説明されました。また、地震や津波が発生した際の取るべき行動についても説明いただき、通電火災への対応の重要性、兵庫県北淡町における巨大地震発生時のグッドプラクティスの紹介を交えながら地域レベルでの様々な「備え」と訓練の必要性を指摘されました。

地すべりについては、元々地すべり地帯であった泉北ニュータウンの開発の経緯が説明されるとともに、丘陵域における住宅地開発における盛土の危険性等について指摘をされました。

豪雨災害については、マンホールや側溝からの水の危険性やアンダーパスでの被害について写真等を交えて紹介され、道路に水が溢れている場合には避難が危険であることを強調されました。最後に先生は、正しい防災知識に基づき、命を守るために自らが判断する自助、およびご近所同士での共助が最も重要であることを強調され、講演を締めくくられました。講演終了後も参加された皆様から熱心な質問が続き、皆様の防災への意識の高さが伺えました。

文責：乾 徹（京都大学）

